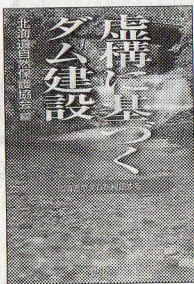


目的や効果、問題点探る



BOOK
ほっかいどう



■虚構に基づくダム建設

北海道のダムを検証する
北海道自然保護協会(編)

民主党政権誕生で一時は凍結されたと思われた各地のダム建設が、再び事業継続へと流れを変えている。

本書は、ダム建設に反対してきた環境・市民団体などが、道内の三つの代表的なダム事業の検証結果と問題点をまとめたものだ。

取り上げるのは、事業の

進む天塩川水系のサンルダムと沙流川の平取ダム、昨年完成した当別川の当別ダム。サンルダムの治水効果やサクラマスを守る魚道の効果などは根拠が乏しい▽平取ダムは堆砂で短期間に埋まる可能性が高い▽当別ダムは過大な水道水や灌漑

だが、その必要性はなくなっている——など、建設目的や効果についての詳細な検証結果が示されている。そして、「ダム建設が止まらぬからくり」として、洪水被害の想定規模などを事業者が恣意的に決められる仕組みや、わずかな水需要のために自治体がダム事業に参加する水利権問題などを指摘する。批判的意見に耳を貸さぬ事業者や形骸化した再評価委員会などを批判し、川を住民の手に取り戻すための民主的な検討組織の設置などを提言している。

自然や文化の破壊だけでなく、不要なダムは本来行うべき河川改修などの治水を後回しにさせる、との主張には説得力がある。

(緑風出版・2625円)

ほっかいどう

場所/種	サイズ/数	状	況	情報連絡先
石狩油	20~40センチ	新港前浜で、	マガレイにスナガレ	進栄丸林船長